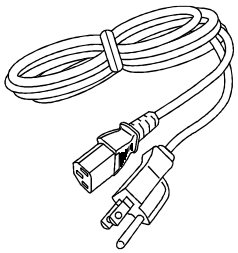
FDX-S16U/S16
設置ガイド

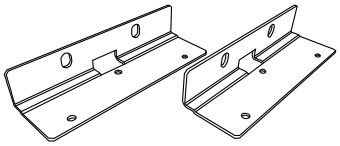
はじめに同梱の「安全上のご注意」をお読みください。本ガイドでは、同梱物の確認、背面図、設置時の注意点、および接続ケーブルの準備について説明しています。設置する前にお読みください。

1 同梱物 (本体除く)

安全上のご注意 × 1
設置ガイド (本書) × 1

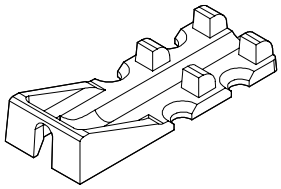


電源コード (1.8 m) × 1
AC 入力コネクター数と同数

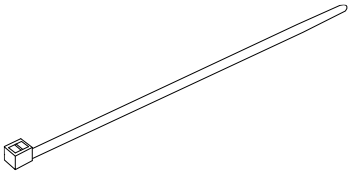


ラック取付金具一組 × 1

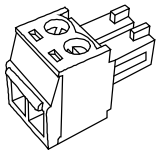
M4 ねじ × 6



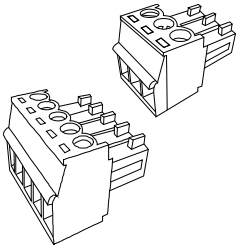
ケーブル固定ブラケット
HDMI コネクター数と同数



結束バンド
HDMI コネクター数と同数

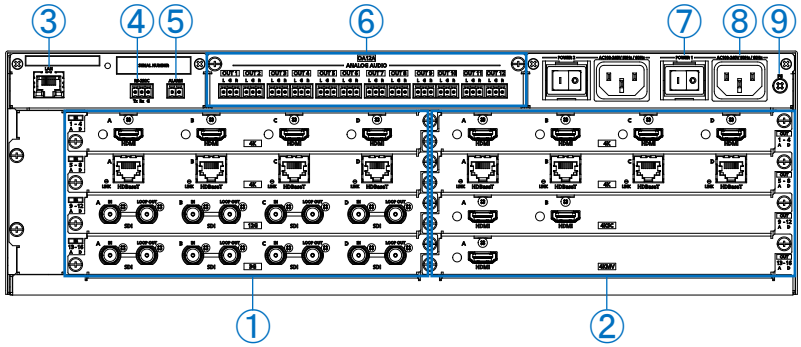


ターミナルブロック (2 ピン)
× 1



ターミナルブロック (3 ピン)
× 1 + 音声コネクター数と同数
ターミナルブロック (5 ピン)
音声コネクター数と同数

2 背面図



①	入力コネクター*1	④	RS-232C	⑦	主電源スイッチ*2
②	出力コネクター*1	⑤	ALARM	⑧	AC 入力*2
③	LAN	⑥	音声コネクター*1	⑨	フレームグランド (M4 ねじ)

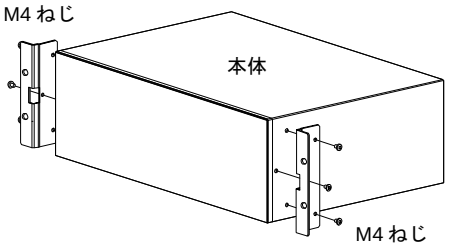
*1 コネクターは、搭載されたスロット仕様により異なります。
*2 二重化電源の場合は、2 個搭載されます。

3 設置時の注意点

- 本機の FG(フレームグランド)端子を屋内のアース端子に接続してください。
- 本体内部の温度が上昇し、部品の寿命や本機の動作などに影響を及ぼすおそれがあるため、以下の点にご注意ください。
  - 本機を積み重ねて使用しないでください。
  - 本体の開口穴は通風孔です。通風孔はふさがないでください。
  - 周囲 30 mm 以上の空間を確保してください。
  - 使用温度範囲は、0°C ～ +40°C です。
- AC 電源は、すべてのケーブルを接続した後に投入してください。

4 取付金具の取り付け

- 同梱の M4 ねじでラック取付金具を本体に取り付けてください。
  ねじの締め付けトルク: 1.47 N·m (約 15.0 kgf·cm)
- 同梱の M4 ねじ以外のねじは使用しないでください。

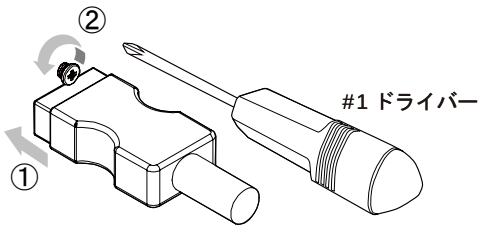


5 接続ケーブルについて

- ケーブルを接続する前に、身体の帯電を除去してから作業をしてください。
- すべての機器の電源を遮断した状態で接続してください。
- コネクターおよびケーブルにストレスを与えないように敷設してください。

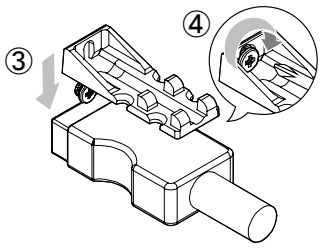
ケーブル固定ブラケット (FB-01) 弊社製品専用

HDMI ケーブルの抜け落ち防止のため、HDMI ケーブルをケーブル固定ブラケットと結束バンドで以下のように固定してください。



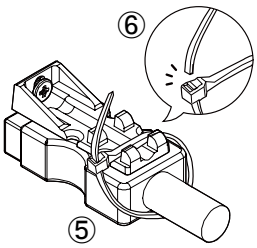
① HDMI ケーブルを HDMI コネクターに接続する。

② HDMI コネクター上部のねじを緩める (6 回転程度)。



③ FB-01 を HDMI コネクター上部のねじに引っ掛け、FB-01 を HDMI ケーブルに密着させる。

④ ねじを締めて FB-01 を固定する (締めすぎに注意)。



⑤ FB-01 と HDMI ケーブルの根本を結束バンドで締める。

⑥ 余った部分をカットする。

LAN ケーブル

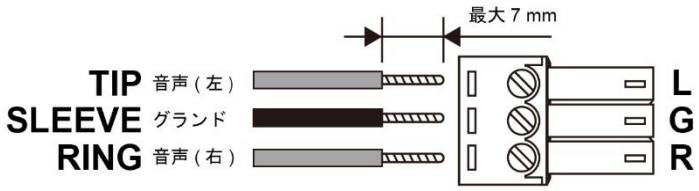
ストレートケーブルまたはクロスケーブルを使用できます。

ターミナルブロック

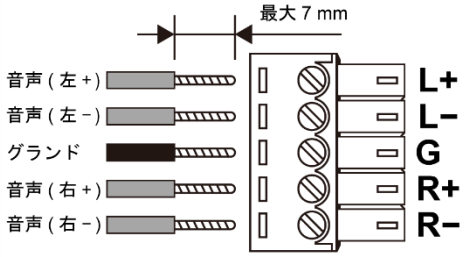
- 推奨ケーブル　：AWG 28 ～ AWG 16
- 最大剥き線長さ：7 mm

音声用ターミナルブロック

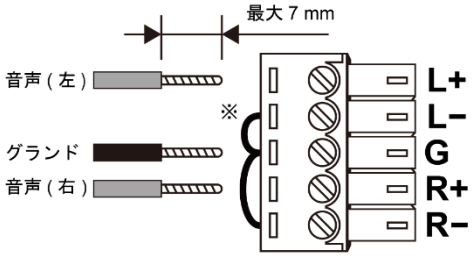
■ 音声ケーブル (3 ピン)



■ 音声ケーブル (5 ピン)

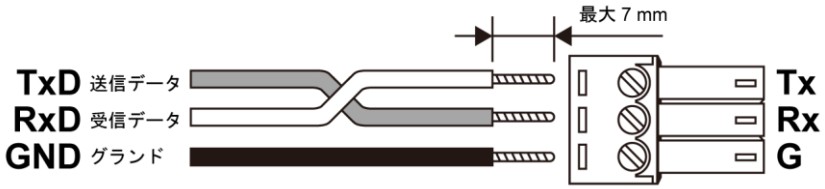


バランス信号の接続 (出力)



アンバランス信号の接続 (出力)
※ L- と R- を G に接続してください

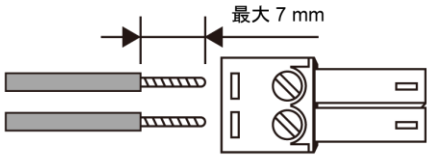
RS-232C 用ターミナルブロック



必要に応じて、制御機器側の RTS と CTS、DTR と DSR をショートしてください。

アラーム用ターミナルブロック

無電圧接点の最大定格: DC 24 V 300 mA



HDBaseT 用ツイストペアケーブルの注意点

- 安定した映像伝送性能を発揮させるために、以下の点にご注意ください。
  - コネクターまでシールドされている STP ケーブルを使用してください。
  - 本機の FG(フレームグランド)端子を屋内のアース端子に接続してください。
  - 接続機器の FG(フレームグランド)端子を屋内のアース端子に接続してください。
- コネクターのピン配列は、T568A または T568B のストレート結線にしてください。
- ツイストペアケーブルを強く引っ張らないでください。
- ツイストペアケーブルの曲げ半径は、ケーブル外径の 4 倍以上にしてください。
- ツイストペアケーブルを固定する場合の結束は、結束バンド内でケーブルが緩く動く程度とし、強く締め付けないでください。
- 複数のツイストペアケーブルを並列に敷設する場合、ケーブル間の距離をあけて、ケーブル同士が平行にならないように、ケーブルを蛇行させて敷設してください。
- ツイストペアケーブルは、輪にして巻いた状態にすると、外来ノイズの干渉を受けやすくなります。
- CAT6A(10GBase-T)対応のケーブルジョイントを 2 か所まで使用できますが、最大延長距離が約 10%短くなることがあります。

©2022 IDK Corporation, all rights reserved.

株式会社 アイ・ディ・ケイ

本　　社　〒242-0021　神奈川県大和市中央7-9-1
TEL：046-200-0764　FAX：046-200-0765　e-mail：info@idk.co.jp

関西営業所　〒564-0063　大阪府吹田市江坂町1-23-5 大同生命江坂第2ビル5階
TEL：06-6192-0764　FAX：06-6192-0906

九州営業所　〒812-0011　福岡県福岡市博多区博多駅前4-9-2 八百治センタービル3階
TEL：092-431-0764　FAX：092-431-0906

その他の取扱説明書
はこちら